

2008年度 学校自己評価システムシート (自由の森学園中学校・高等学校)

目指す学校像	深い知識、豊かな表現、等身大の体験、自立した自由を育む、自由の森の「観(ものみかた)」の教育
--------	--

重点目標	1. 教科実践のさらなる向上を目指す。 とくに、中学校はカリキュラムの見直し、高校は選択講座の検討をすすめる。 2. 学びのリズムづくりと学校行事の検討をする。 3. 保護者との連携を重視する。 4. 地域に開かれた学校づくりを目指す。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (6 月 1 0 日 現 在)			
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策
1	教科実践のさらなる向上	<ul style="list-style-type: none"> ・中学においてはより充実したカリキュラム内容へと見直しをはかる ・高校では100程度ある自由選択講座のひとつひとつについて各教科会で検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会において検討課題を明確にし、公開研究会において多くの参加者とともに検討を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科においてより充実した教育課程作成に取り組めたか? ・自由選択講座の内容の検討ができ、それぞれの課題を確認できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の見直しを各教科で進めている。特に中学校は21年度、中1から6日制に移行することとした。 ・公開研究会の授業検討を選択授業とし、参加者、生徒とともに検討を重ねた。21年度からは土曜日にも選択講座を開講し希望者は受講可能にする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度は中学校全体が6日制に移行することにより教育課程のさらなる充実を図る。 ・土曜選択講座が始まり、社会人講師を含めるなど多様な取り組みを進める。
2	学びのリズムづくりと学校行事の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事が多いことにより学習のリズムがつくりにくい ・とくに前期の評価表記入期間の近くに行事があることで学習のふりかえりや、やり直しがしにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つある全校行事の見直しを生徒に提案し、学習のリズムと前期のまとめの大切さを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の評価表期間に各生徒がじっくりと自分の学びと向き合うことができたか? ・学校行事のあり方を検討することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期評価表記入期間の近くに行っていた学園祭を、評価表記入後の10月に実施することで、前期のまとめをじっくりと落ち着いて取り組むことができた。 ・今までの学園祭の問題点を積極的に検討することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も前期のまとめ期間付近には全校行事を入れないこととした。 ・学園祭についてももう少し中身を検討していくことにしている。
3	保護者との連携重視	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として大変本校の教育に理解を示している保護者が多い為、教育実践や学校環境・生徒募集などにおいても、積極的に参加している。 ・学校通信が年間を通して、定期的に発行されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校通信の定期的な発行による、発信の充実 ・HPの更新と、更なる充実。 ・全校保護者連絡会を定期的に開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校通信が定期的に発行されたか。 ・HPの充実がはかれたか。また、アクセス数にも注目していきたい。 ・全校保護者連絡会を定期的に開催することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校通信の定期的な発行に至らなかった。 ・HPの全面改訂によりアクセス数も増えてきている。 ・全校保護者連絡会は保護者の自主的な運営により定期的に開催された。その取り組みとして学校財政分科会やメディア分科会などが立ち上がった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・HPのさらなる充実を図っていく。 ・学校通信の定期てきな発行に力を注ぐ。 ・全校保護者連絡会をさらに充実するとともに、25周年行事を保護者との協力で成功させる。
4	地域に開かれた学校づくりを目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流・連携は確実に進んでいるが、地域全体の学校への理解はまだ薄いところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りへの生徒の参加。 ・市の大きな企画であるツアーマーチへの参加と運営の協力。 ・市民に開く公開講座 ・市内の中学へ出張授業。 ・地域清掃活動への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・教師の地域への積極的な参加の意識が高まったか。 ・どれだけ自由の森学園を地域に発信できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り、ツアーマーチなど生徒教師の地域へのかかわりが、多くなってきている。 ・林業講座、飯能地域研究など地域の人々の協力により選択講座が充実してきている。 ・地域の小学校、中学校での出張授業が増えてきている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中学校への授業をさらに増やしていく。 ・選択授業を中心に、もっと地域に視点を置き、学んでいく時間を増やしていくとともに、地域の方を講師に招いたりして、学びを深めていく。